



# CHA・CHA・CHA 通信

第8号 平成26年2月15日発行 札幌大学女子短期大学部  
〒062-8520 札幌市豊平区西岡3条7丁目3番1号 ☎011-852-9135 <http://www.sapporo-u.ac.jp>

## ◆就活生にとって勝負となる大切な春休み

秋学期定期試験が終わり、大学では、2015年春卒業予定の学生を主な対象とした「会社説明会」が2月6日(木)～15日(土)の日程で開催されるなど、就職活動が本格化しています。

この会社説明会は、学生に多くの企業と接する機会を提供することや就職に対する意識向上をはかることを目的に、札幌大学に企業の採用担当者を招き、企業毎に教室で行うもので、全日程で道内外から約150社(うち短大生対象は約90社)の企業が参加します。



大学が独自に学内で実施する説明会のため、説明会当日まで知らなかった企業であっても安心して説明を聞くことができるほか、人気・有名企業ランキングの価値観に左右されがちな学生が自身の適性に合う企業と出会うメリットもあります。

多くのキャリアデザイン学科1年生も参加し、リクルートスーツを身にまとい、緊張しながらも企業の方の説明に真剣に耳を傾けていました。

会社説明会に先がけて、女子短期大学部では1月10日(金)に「履歴書の書き方講座」を実施し、心構えや志望動機や自己PRの表現方法について学びました。学生がこの講座で学んだことを活かして自身で記入した履歴書は、CDA(キャリア・デベロップメント・アドバイザー)がプロの視点で個別に添削指導をして、書類選考に対応できるよう備えます。

また、この春休みを利用して、あかん湖鶴雅リゾートスパ 鶴雅ウイングス(観光業)、株式会社北海道銀行(金融業)、ANA新千歳空港株式会社(航空業)において1週間程度のインターンシップが実施され、7人が参加予定です。実際の現場での就業体験を通じて、興味のある業界や業種についての理解を深め、就職活動への意欲を高めます。



さらに、本学協定校である中国・惠州学院での3週間の海外研修も実施されます。語学力の向上のみならず、異文化体験で身に付けたグローバルな視野は、就職活動でもアピールポイントとなります。

この春休みは、就職活動において非常に重要な時期となります。学生がインターンシップ、海外研修をはじめ、資格取得や就職活動のスケジュールをしっかりと立てられるように、春休み中も教職員スタッフで支援していきます。



実施日	プログラム内容
2月6日～15日	札幌大学会社説明会
2月17日～23日	インターンシップ: 鶴雅グループ(阿寒湖)
2月22日～3月16日	海外研修: 中国・惠州学院
2月24日～28日	インターンシップ: 北海道銀行
3月3日～7日	インターンシップ: ANA新千歳空港

## ◆OGとのキャリア交流会を開催

女子短期大学部では、キャリア教育支援プログラムの一環として、1月10日(金)・17日(金)に、社会で活躍する本学OG(卒業生)の話聞く「OGキャリア交流会」を開催しました。

このOGキャリア交流会は、年齢の近い先輩から現在の仕事内容やそのやりがい、仕事に対する思いを直に聞くことで、学生の社会的関心やキャリア意識を高め、自らの適性や能力について考える機会として行われ、菓子製造販売業から2人、金融業界から2人のOGにご協力いただきました。

後輩学生に向けて、「社員としての責任と自覚を持って仕事に取り組むことが大切です」、「お客様に感謝の言葉をいただけたときにやりがいを感じます」、「信頼され、必要とされる銀行員を目指して、働いてからも資格取得等のため勉強し続けています」などとOG自らの実体験をはじめ、就職活動へのアドバイスが語られました。



▲株式会社きのとや 中野恵理香さん(写真左)、株式会社北菓楼 三坂麻規子さん(写真右)

普段なかなか聞くことのないOGの体験談に学生たちは、「仕事に対する熱意が伝わった」、「ライフスタイルが変わっても安心して働ける環境が良いと思った」、「就活へのモチベーションがアップした」などの感想を述べ、企業などで働く具体的なイメージをつかんでいました。



◀株式会社北洋銀行 渡会麻季子さん(写真左上)、株式会社北海道銀行 神作梨絵さん(写真右)

## ◆子どもと関わり合える力を養う トーンチャイムで音遊び

12月13日(金)に「トーンチャイム」という楽器を使って音の楽しさを子どもたち伝えるイベントが本学で行われ、昨年9月に開講された子どもパートナー認証講座で子どもと関わる活動の基本を学んだキャリアデザイン学科の学生6人がボランティアとして参加しました。

実践的に子どもたちと活動した学生たちは、戸惑いながらもトーンチャイムを初めて手にする子どもたちを上手にサポートしました。「きらきら星」を一緒に演奏しながら、みんなで音楽を創る楽しさを感じている子どもたちを温かく見守る姿に、学生たち自身の成長が期待できました。

